

今年度より、ココバッグの新規格として『ココバッグミニ』が加わりました。
今月号では、研究農場にて行った栽培試験と合わせて『ココバッグミニ』をご紹介します！

■ココバッグミニ

レギュラータイプと同等の培地配合と厚みのまま、
小規格化したココバッグのミニタイプです。

復元後サイズ：約20×18×16(cm)
定植本数：バッグあたり1鉢(2本植え)推奨



研究農場での栽培の様子▶



■ココバッグミニの特徴

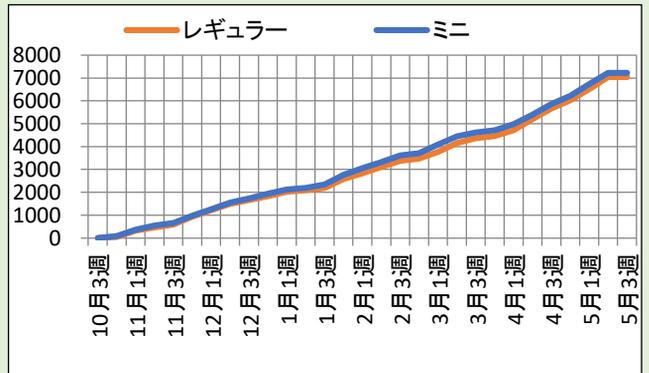
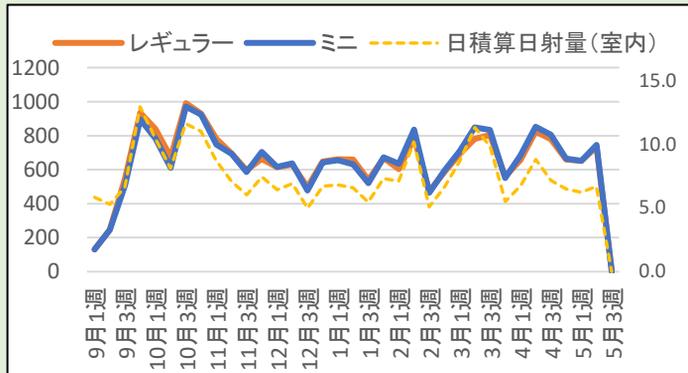
- ・コンパクトであるため、作業性や株間調節の自由度がアップします
- ・薄型のタイプより、根域が温度の影響を受けにくいです
- ・培地容量が少ないので、少量多頻度灌水を推奨とします

■試験データ (※2024年5月中旬現在)

◎栽培品目：大玉トマト(桃太郎ホープ×台木アシスト) 8/31定植

◎灌水設定：1回量…レギュラータイプの3割 回数…レギュラータイプの3倍
※積算日射制御による灌水

■株あたり吸水量(ml) ※日積算日射量(MJ/m²) ■株あたり累積収量(g)



少量多頻度灌水で管理することで、レギュラータイプと同等の吸水量、収量が確認できています。